

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市表彰事業					事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	060102000884	
		単独/補助					単独			010101	
政策体系	総合計画の施策名	0601	市民協働のまちづくり					所属課	秘書広報課		
	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり					課長名			
	施策名	01	市民協働のまちづくり					グループ	秘書広報G		
	手段名	02	②協働のまちづくりの推進					担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	01	04	02	00	秘書関係事業				
法令根拠	桜川市表彰条例						単年度繰返し (平成17年度~)				
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>桜川市の政治、文化、社会、経済その他の地方自治の各般にわたってその発展に寄与し、衆人の模範と認められる方、公益事業に関して著しい功績のあった方を表彰し、その功績をたたえます。</p> <p>表彰の種類は、功労者表彰 (自治功労者・特別功労者) ・一般表彰・寄附者表彰とし、自治功労者には自治功労章を、特別功労者には特別功労章を授与し、かつ、表彰状および記念品を贈呈。一般表彰者には、その事由に応じて表彰状、感謝状、褒状などを贈呈し、かつ、記念品を贈呈。また、寄附表彰者には、功績章を授与し、かつ、感謝状および記念品を贈呈します。</p>	<p>■被表彰者の内申依頼を市役所全課に依頼</p> <p>■各課から内申された被表彰者の方々の調査を行い、市長に内申</p> <p>■庁議において調査審議の上、市長が決定</p> <p>■被表彰者の方々への通知発送</p> <p>■被表彰者の出席の把握</p> <p>■会場準備・式典開催・会場片付け</p> <p>■会食会開催※新型コロナウイルス感染症の拡大を機にR2年度から会食は中止している</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<p>■被表彰者の内申を依頼</p> <p>■庁議において調査審議の上、市長が決定</p> <p>■被表彰者の方々への通知発送</p> <p>■被表彰者の出席の把握</p> <p>■記念品の準備</p> <p>■会場準備・式典開催・会場片付け</p>	実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	市民数	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市政発展に貢献し、衆人の模範と認められる方を顕彰し讃えるとともに感謝の意を伝達し、広報紙などで市民の皆様へ周知することで協働社会の参画意識を高める。	被表彰者数	人	26.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定総投入量
県支出金	千円	0	0	0				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	0	0	0				
一般財源	千円	462	291	828				
事業費計 (A)	千円	462	291	828				
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)			
	07 報償費	224		07 報償費	658		
	10 需用費	50		10 需用費	95		
	11 役務費	17		11 役務費	75		
			合計	291		合計	828

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	4月1日を基準日とし庁内から表彰対象者を募り庁議での審議を経て表彰式を実施する。表彰状や記念品などの発注を行う。	4月1日を基準日とし庁内から表彰対象者を募り庁議での審議を経て表彰式を実施する。表彰状や記念品などの発注を行う。	4月1日を基準日とし庁内から表彰対象者を募り庁議での審議を経て表彰式を実施する。表彰状や記念品などの発注を行う。

事務事業名	桜川市表彰事業	事務事業No.	60102000884	所属課	秘書広報課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併以前から旧町村ごと実施。合併後も、引き続き桜川市表彰条例を制定しその基準に基づき実施している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特にありません					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市政の各分野で功労・功績のあった方を表彰することは、市民協働のまちづくりにつながることから政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市政の各分野で功労・功績のあった方を表彰することは、市政の発展や公益の増進に結びつき、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 桜川市表彰条例で表彰基準を設けており、近隣市についても同様の基準で表彰しているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市政の各分野で功労のあった方を表彰できなくなると、市政に対する市民意識の低下を招く恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市政の各分野で功労・功績のあった方の表彰であるため、統廃合・連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 表彰状の作成費用および記念品などの費用も適切であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民の方を対象に、市政の各分野で功労・功績のあった方を表彰するため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和5年度は、市の表彰条例に基づき、26名への表彰を行った。表彰式は、7月に開催。開催方法は、令和4年度までは新型コロナウイルスへの感染防止対策として市側の出席者を減らし、表彰式終了後の受章者との会食も中止。令和5年度はコロナ禍以前の出席者(市長・副市長・教育長・各部署長)に戻したが会食は引き続き取りやめとした。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>